

年度 2009 学期 前期	曜日・校時 火 II・火 IV・木 III	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語 III (German III)			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) 火一2(2T21A-22A) 火一4(2T 22B-23B),木一3(2E 5-10)	科目分類 外国語科目(ドイツ語)			
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:ファーデン・ゲアハルト /Eメールアドレス:g-faden@net.nagasaki-u.ac.jp /研究室: 環境科学部一階 /TEL:095-819-2774 /オフィスアワー:授業の前後				
担当教員(オムニバス科目等)				
<p>授業のねらい ドイツ語の学習を通して、学生がドイツ語圏の文化を理解するための一歩を踏み出すことができますようにします。</p> <p>授業方法(学習指導法) ひとつおりのドイツ語を学んだ学生が、ワンランク上の読解力と文法、そして表現力を身につけることを目標にします。試験前に単語や例文を丸暗記するだけではなく、日本語とは異なる文化での生活を、ひとつひとつ具体的に想像できるような授業を狙っています。ビデオ教材も取り入れます。</p> <p>授業到達目標 聞く、話す、読む、書くという基本能力がバランスよく身につくようにします。</p>				
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要)</p> <p>初級・中級読本が中心です。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回~第3回 冠詞と名詞、ドイツ語圏の歴史 I 第4回~第5回 動詞、ドイツ語圏の歴史 II 第6回~第7回 形容詞、ドイツ語圏の歴史 III 第8回 話法の助動詞、ドイツ語圏の教育制度 I 第9回 分離動詞、ドイツ語圏の教育制度 II 第10回 再帰動詞、ドイツ語圏の社会 I 第11回 過去形、ドイツ語圏の社会 II 第12回 受動態、ドイツ語圏の観光地、味わい、祭り 第13回~第14回 まとめ 第15回 全授業の総括</p>				
キーワード				
教科書・教材・参考書	シュトラッセ・ノイ (コンパクト版) 朝日出版社			
成績評価の方法・基準等	定期試験 (80%)、授業への貢献度 (20%)			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ /学習・教育目標				
備考(準備学習等)				